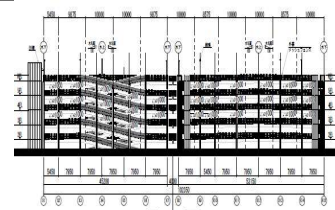


CASBEE® - 建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	TAA関東 埼玉サテライト会場新築	階数	地上5F
建設地	埼玉県幸手市	構造	S造
用途地域	工業地域、準防火地域	平均居住人員	10人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年9月 予定	評価の実施日	2021年7月20日
敷地面積	8,780 m ²	作成者	植木 和彦
建築面積	7,685 m ²	確認日	2021年7月29日
延床面積	38,346 m ²	確認者	渡辺 人之



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.5 ★★☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q のスコア = 2.3

Q1 室内環境

Q1のスコア= 0.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.5

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.2

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 2.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 0.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.5

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 2.7

3 設計上の配慮事項

総合	その他	
物件は断熱材と燃焼設備を使用致しません。	特になし。	
Q1 室内環境 評価対象外	Q2 サービス性能 特になし。	Q3 室外環境(敷地内) 特になし。
LR1 エネルギー 評価対象外	LR2 資源・マテリアル 特になし。	LR3 敷地外環境 物件は燃焼設備を使用していない。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版
TAA関東 埼玉グランドホテル新築工事

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

スコアシート		実施設計段階								
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄				評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q1 建築物の環境品質						-	-	-	-	2.3
Q1 室内環境						-	-	-	-	-
1 音環境						-	-	-	-	-
1.1 室内騒音レベル						-	-	-	-	-
1.2 遮音						-	-	-	-	-
1 開口部遮音性能						-	-	-	-	-
2 界壁遮音性能						-	-	-	-	-
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						-	-	-	-	-
4 界床遮音性能(重量衝撃源)						-	-	-	-	-
1.3 吸音						-	-	-	-	-
2 温熱環境						-	-	-	-	-
2.1 室温制御						-	-	-	-	-
1 室温						-	-	-	-	-
2 外皮性能						-	-	-	-	-
3 ゾーン別制御性						-	-	-	-	-
2.2 湿度制御						-	-	-	-	-
2.3 空調方式						-	-	-	-	-
3 光・視環境						-	-	-	-	-
3.1 昼光利用						-	-	-	-	-
1 昼光率						-	-	-	-	-
2 方位別開口						-	-	-	-	-
3 昼光利用設備						-	-	-	-	-
3.2 グレア対策						-	-	-	-	-
1 昼光制御						-	-	-	-	-
3.3 照度						-	-	-	-	-
3.4 照明制御						-	-	-	-	-
4 空気質環境						-	-	-	-	-
4.1 発生源対策						-	-	-	-	-
1 化学汚染物質						-	-	-	-	-
4.2 換気						-	-	-	-	-
1 換気量						-	-	-	-	-
2 自然換気性能						-	-	-	-	-
3 取り入れ外気への配慮						-	-	-	-	-
4.3 運用管理						-	-	-	-	-
1 CO ₂ の監視						-	-	-	-	-
2 喫煙の制御						-	-	-	-	-
Q2 サービス性能						-	0.43	-	-	2.5
1 機能性						-	-	-	-	-
1.1 機能性・使いやすさ						-	-	-	-	-
1 広さ・収納性						-	-	-	-	-
2 高度情報通信設備対応						-	-	-	-	-
3 バリアフリー計画						-	-	-	-	-
1.2 心理性・快適性						-	-	-	-	-
1 広さ感・景観						-	-	-	-	-
2 リフレッシュスペース						-	-	-	-	-
3 内装計画						-	-	-	-	-
1.3 維持管理						-	-	-	-	-
1 維持管理に配慮した設計						-	-	-	-	-
2 維持管理用機能の確保						-	-	-	-	-
2 耐用性・信頼性						2.7	0.50	-	-	2.7
2.1 耐震・免震・制震・制振						3.0	0.50	-	-	-
1 耐震性(建物のこわれにくさ)						3.0	0.80	-	-	-
2 免震・制震・制振性能						3.0	0.20	-	-	-
2.2 部品・部材の耐用年数						2.8	0.30	-	-	-
1 躯体材料の耐用年数						3.0	0.20	-	-	-
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔						2.0	0.20	-	-	-
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔						3.0	0.10	-	-	-
4 空調換気ダクトの更新必要間隔						3.0	0.10	-	-	-
5 空調・給排水配管の更新必要間隔						3.0	0.20	-	-	-
6 主要設備機器の更新必要間隔						3.0	0.20	-	-	-
2.4 信頼性						2.2	0.20	-	-	-
1 空調・換気設備						3.0	0.25	-	-	-
2 給排水・衛生設備						1.0	0.25	-	-	-
3 電気設備						-	-	-	-	-
4 機械・配管支持方法						3.0	0.25	-	-	-
5 通信・情報設備						2.0	0.25	-	-	-

3 対応性・更新性		2.4	0.50	-	-	2.4
3.1 空間のゆとり		1.0	0.30	-	-	
1 階高のゆとり		1.0	0.60	-	-	
2 空間の形状・自由さ		1.0	0.40	-	-	
3.2 荷重のゆとり		3.0	0.30	-	-	
3.3 設備の更新性		3.0	0.40	-	-	
1 空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2 給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3 電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4 通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6 バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)		-	0.57	-	-	2.2
1 生物環境の保全と創出		2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮		1.5	0.30	-	-	1.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		1.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性		-	-	-	-	2.6
LR1 エネルギー		-	-	-	-	-
1 建物外皮の熱負荷抑制		-	-	-	-	-
2 自然エネルギー利用		-	-	-	-	-
3 設備システムの高効率化	[BEI][BEIm] = 対象外	-	-	-	-	-
4 効率的運用		-	-	-	-	-
集合住宅以外の評価		-	-	-	-	-
4.1 モニタリング		-	-	-	-	-
4.2 運用管理体制		-	-	-	-	-
集合住宅の評価		-	-	-	-	-
4.1 モニタリング		-	-	-	-	-
4.2 運用管理体制		-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル		-	0.50	-	-	2.5
1 水資源保護		2.2	0.20	-	-	2.2
1.1 節水		1.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減		2.4	0.60	-	-	2.4
2.1 材料使用量の削減		2.0	0.11	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.22	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.22	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-	1.0	0.22	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材		-	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.22	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避		3.0	0.20	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用		3.0	1.00	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避		-	-	-	-	
1 消火剤		-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)		-	-	-	-	
3 冷媒		-	-	-	-	
LR3 敷地外環境		-	0.50	-	-	2.7
1 地球温暖化への配慮		-	-	-	-	-
2 地域環境への配慮		2.8	0.50	-	-	2.8
2.1 大気汚染防止	物件は燃焼設備を使用していない。	5.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善		2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制		2.5	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮		2.7	0.50	-	-	2.7
3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
1 騒音		3.0	1.00	-	-	
2 振動		-	-	-	-	
3 悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制		1.0	-	-	-	
3 日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制		1.6	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		1.0	0.70	-	-	
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	

CASBEE埼玉県 重点項目シート












■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要

建物名称	TAA関東 埼玉サテライト会場新築	BEE	0.5	BEEランク	★★
------	-------------------	-----	-----	--------	----

2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア		
0.0	+	2.0	=	2.0 
重点項目の各スコアの合計点				
がんばろう 6.0未満 	良い 6.0以上  	非常によい 6.8以上   	すばらしい 8.0以上    	

3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO2の削減		スコア平均	0.0
＜CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア＞			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	0.0
物件は省エネの計算対象外です。			
(2) 緑の保全・創出		スコア平均	2.0
＜CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア＞			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	2.0
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア	2.0
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア	2.0
特になし。			

:入力欄